

令和5年度 小・中学校人権教育研修B 実施要項
(ジェンダー平等)

- 1 目的 男女共同参画社会の実現に向けて、大阪府におけるジェンダー平等教育や性の多様性、セクシュアル・ハラスメントについての現状と課題について理解するとともに、学校に求められる役割について認識を深め、ジェンダー平等教育や命の安全教育を理解するための具体的な取組み等について考える。
- 2 対象 小・中・義務教育学校の教職員 各市町村1名以上
- 3 日時等 4月1日以降の変更部分に網掛けをしています。

回	日時	主題等	講師等
1	リアルタイム開催 9月19日(火) 14:00~17:00	ジェンダー平等教育、命の安全教育についての理解及びセクシュアル・ハラスメントの未然防止について 実践発表 性の多様性が尊重された学校づくりを進めるために 〔講義・実践発表・講演〕	大阪府教育庁 指導主事等 府内小・中学校教職員 中京大学 教授 風間 孝
2	10月3日(火) 14:00~17:00	性暴力について考える ドーンセンター情報ライブラリーを活用して 〔所外見学・講演・ワークショップ〕	一般社団法人 大阪府男女共同参画推進財団 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 第1回 所属校等

第2回 大阪府立男女共同参画・青少年センター（大阪府中央区大手前1丁目3番49号）

京阪本線・Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅下車、東へ約350m
JR東西線「大阪城北詰」駅下車、西へ約550m

- 5 その他 (1) 受付は30分前から。
(2) 来所時には、所属名・名前が入った名札を着用すること。
(3) 自家用自動車・バイク等は各会場に駐車できません。
(4) 事前に準備しておく事項があるので、研修対応ポータルサイトを必ず確認すること。
(5) Web開催（オンデマンド開催、リアルタイム開催）の場合、研修対応ポータルサイト内の各研修の個別ページに掲載する実施マニュアルを参照すること。
- 6 担当室 人権教育研究室

令和5年度 小・中学校人権教育研修B シラバス (ジェンダー平等)

1 目的

男女共同参画社会の実現に向けて、大阪府におけるジェンダー平等教育や性の多様性、セクシュアル・ハラスメントについての現状と課題について理解するとともに、学校に求められる役割について認識を深め、ジェンダー平等教育や命の安全教育を理解するための具体的な取組み等について考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期	○								○				○		○
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	ジェンダー平等教育、性的マイノリティの人権についての理解及びセクシュアル・ハラスメントの未然防止について	ジェンダー平等教育、性的マイノリティの人権及びセクシュアル・ハラスメントに関する現状と課題について理解する。	大阪府におけるジェンダー平等教育、性の多様性の現状と課題、セクシュアル・ハラスメントの未然防止に向けた学校づくりについて講義から学ぶ。	事前課題 人権教育リーフレット「男女共同参画社会をめざす学校づくり①、②」を読んでおく。
	ジェンダー平等教育の取組みについて	男女共同参画社会の実現に向け、学校が果たすべき役割について考える。	・実践発表を通して、自校におけるジェンダー平等教育の具体的な取組みについて考える。	
	性の多様性が尊重された学校づくりを進めるために	性の多様性について理解を深めるとともに、性の多様性が尊重された学校づくりについて考える。	・講演を通して、性の多様性に関わる社会の課題やその解決のために学校に求められる役割について学ぶ。	
2	性暴力について考える	命の安全教育に取り組むための観点や学校に求められる役割について学ぶ。	性暴力の状況や相談の事例を通じて、命の安全教育について理解を深め、校内の実践につなげるための方策について考える。	
	ドーンセンター情報ライブラリーを活用して	資料を活用し、学校におけるジェンダー平等教育をどう進めていくかについて考える。	ドーンセンター情報ライブラリーを見学するとともに、ジェンダー平等教育に関する施設の情報を活用した教材作成のワークショップを行う。	